

1. 基盤整備方針の目的と位置づけ

■ 池袋駅周辺地域のまちづくりの将来像 (池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン)

○ 池袋駅周辺地域まちづくりの将来像

「世界中から人を惹きつける 国際アート・カルチャー都市のメインステージ」
 — 界隈を歩き、にぎわいと四季の彩りを感じるまち・池袋 —

○ 池袋駅周辺地域のまちづくりの視点



○ 池袋駅周辺地域のまちづくりの戦略

戦略1 文化と生活・産業が創発するまちづくり

戦略4 誰もが安全・安心に暮らし、集えるまちづくり

戦略2 駅からにぎわいが広がるまちづくり

戦略5 環境と共生し、四季の彩りに包まれたまちづくり

戦略3 界隈を歩き、楽しめるまちづくり

※目標年次：2035年の姿を想定

○ エリア特性を踏まえたまちづくりの考え方

まちの特徴や課題、都市整備の進め方に応じてエリアを設定し、エリア特性に合わせたまちづくりを進めていく

■ 池袋駅周辺地域基盤整備方針の目的

・安全で快適な都市空間を創出し、まちづくりの将来像である「世界中から人を惹きつける国際アート・カルチャー都市のメインステージ」を実現するため、ガイドラインの目標年次である2035年に向けて、都市再生事業を進める際に公民が連携・協働して対応すべき、都市基盤に関する課題と取組みを整理する。

〈「国際アート・カルチャー都市のメインステージ」とは〉

- ・固定の劇場だけでなく、広場や道路、公園などを活用し、リアルな表現・発信の場をまちなかに創出する
- ・様々な空間で、多様な価値観を持つ来街者や住民が日常的に交流することで、新文化・新産業のスタートアップ、育成を支援する

■ 池袋駅周辺地域基盤整備方針の位置づけ

